



10/12

第4回とよなか秋のまつりが豊中町図書館前駐車場で開催され、14台もの地元太鼓台が集結しました。各太鼓台の“かきくらべ”では、指揮者の笛に合わせて「そーら、えんやーえんやーよいやっさ!!」と、太鼓台を差上げました。ライトの光に照らされた絢爛豪華(けんらんごうか)な太鼓台は、訪れた人たちを魅了しました。



9/25

三豊市社会福祉協議会と、特別養護老人ホームたくま荘にそれぞれ3台ずつが贈られました。詫間中学校の生徒が奉仕活動で回収したアルミ缶や地域の住民が持ち寄ったアルミ缶が、車イスに姿を変え、足の不自由な人たちに利用されます。

大見幼稚園で第21回「保護者と市長との対話集会」が開かれ、通学路や、不審者情報問題等についての意見が交わされました。今回で、すべての幼稚園を訪問しました。11月からは各保育所を訪問します。



10/10



10/16

詫間港高谷地区および粟島周辺で詫間・粟島漁協組合員と市職員が、水産資源対策事業の稚魚放流を行いました。この事業は、稚魚を放流することで資源の確保や漁獲量の減少を防ぐもので、今回は、約3万匹のヒラメの稚魚を放流しました。

『三(み)んなで元気に豊かな人生』をテーマに「みとよ健康・福祉まつり 08」がマリンウェーブで開催されました。

介護や保健、育児に関する盛りだくさんのイベントでは、おもちゃを作ったり、体や脳、血液の年齢を測ったりと、子どもからおじいちゃんおばあちゃんまでが、楽しんで健康なからだやこころづくりを体験しました。



10/11

みとよHOT ほっとNEWS

三豊市ホームページ(<http://www.city.mitoyo.lg.jp/>)で好評配信中!!



9/13~15

仁尾八朔人形まつり2008が仁尾町文化会館周辺で開催されました。このまつりは、歴史上の武将やおとぎ話の名場面を店舗や車庫などを利用してジオラマで再現し、それをスタンプラリー形式で散策するものです。地域の人が、手間暇をかけて作った人形はどれも見ごたえがあり、また、文化会館前では地域の特産品や郷土料理も味わえました。

上高瀬小の1、2年生と上高瀬幼稚園の園児がサツマイモ掘りを体験しました。今回収したサツマイモは、地元認定農業法人三豊エコーファームの白川大輔さんと認定農業士の豊嶋晃司さんが5月に植えて、育てたものです。子どもたちは、それぞれスコップやバケツを持参して、大きく育ったサツマイモを上小ふるさとの会の皆さんといっしょに収穫しました。



9/25



財田幼稚園と保育所の園児が市役所財田庁舎前の県道で交通キャンペーンを行いました。手作りのマスコットと「うんでんしゅさんへ こうつうルールをまもって、きをつけてうんでんしてください」と書かれたメッセージカードを手渡して、安全運転を呼びかけました。



高松市生島町の消防学校で香川県消防操法大会が開催され、三豊市消防団代表として財田方面隊が小型ポンプの部に出場しました。団員は猛暑のなか、3カ月にも及んだ厳しい訓練の成果を十分に発揮し、力強く操法を披露しました。



豊中幼稚園の園内の菜園で年中の園児95人が、いも掘り体験をしました。園児たちは、生い茂ったお芋のつるをみんなで力あわせて「うんとこしょ～どっこいしょ!」のかけ声で引っ張り、用意していたスコップでお芋を掘り出しました。お芋がみえると手で掘り出して「大きいのとれた～」と大喜び。自分たちで育て、収穫したお芋は『お芋パーティー』でおいしく頂きました。

第7回やまもと爽郷まつりが山本ふれあい公園などで開催されました。秋のすがすがしい青空の下で、心奮わすダイナミックな演舞のよさこい踊りや華やかな衣装の太鼓打ちが印象的な獅子舞の競演、みんなで盛り上がった大じゃんけん大会など盛りだくさんのイベントが行われ、会場は多くの家族連れでにぎわいました。

辻小学校と下高瀬小学校で「新エネルギー教室」が開催されました。ワークショップでは、1人ひとりくふうして模型風車の羽根を作り、うちわであおいで発電量を競った



り、風車で充電した模型自動車を走らせたりしながらエネルギー（電気）を作る身近な方法や作るたいへんさを学びました。

来年度オープンの宗吉瓦窯跡史跡公園（仮称）整備事業記念行事『持続天皇と日本の古代国家』シンポジウムを三野町体育センターで開催しました。会場前では、地元生活研究グループがボイセンベリー入り瓦窯せんべいなどを販売。シンポジウムでは、満員の会場の中、奈良県立図書情報館の千田稔館長を中心に古代のロマンについて熱く語られました。

